

2023年9月 (No.sh0412)

**サントリーホール室内楽アカデミー特別公演  
大阪国際室内楽コンクール 2023 弦楽四重奏部門第2位記念  
ほのカルテット リサイタル**



ほのカルテット ©N.Ikegami


 大阪国際室内楽コンクール 2023 本選での演奏  
©日本室内楽振興財団

**サントリーホール室内楽アカデミーから大阪国際室内楽コンクール初の入賞団体誕生！**

——見事な音のコントラスト、表現力豊かなアプローチ、技術の完成度の高さで、傑出していた『Classical Voice America』より

サントリーホールは **2023年12月19日(火)19:00** より、ブルーローズ (小ホール) で、**サントリーホール室内楽アカデミー特別公演 大阪国際室内楽コンクール 2023 弦楽四重奏部門第2位記念 ほのカルテット リサイタル**を開催します。

2023年5月、**大阪国際室内楽コンクール&フェスタ 2023 第1部門(弦楽四重奏)**にて、**第2位とアンバサダー賞を受賞したほのカルテット**。大阪国際室内楽コンクールは、世界7大弦楽四重奏コンクールに数えられる日本で唯一の国際的な室内楽コンクールで、日本人団体としては1996年(第2回)のクアルテット・エクセルシオと並ぶ過去最高位の快挙です。

ほのカルテットは、東京藝術大学在学のメンバーが2018年に結成。直ぐに頭角を現し、国内の弦楽四重奏コンクールで入賞を果たします。その後メンバーは、読売日本交響楽団(岸本萌乃加)、クラシック音楽に限らず幅広いジャンルでソリストとして活躍(林周雅)、反田恭平が率いるジャパン・ナショナル・オーケストラ(長田健志)、東京交響楽団(蟹江慶行)など、それぞれがプロフェッショナルとしての拠点を持つ中で、22年9月よりサントリーホール室内楽アカデミー第7期生として学んでいます。

今回のプログラムは、コンクールの課題曲7曲の中からファイナルで披露し、更なる探求に余念のない**ベートーヴェンの弦楽四重奏曲第12番**をメインに、遊び心溢れるハイドンや洗練されたメンデルスゾーンなど、弦楽四重奏の多彩な魅力が感じられる選曲です。個々のメンバーが豊かな経験を持ちより、グループの飛躍的な成長が著しい「ほのカルテット」。音楽に対する真摯でひた向きの姿勢で、既に若手カルテットの代表としての風格を備える、将来性豊かなグループの躍動にご期待ください。

※ほのカルテット(弦楽四重奏)インタビュー <https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/article/detail/001264.html>

※公演詳細はこちらからご覧ください。 [https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/20231219\\_S\\_3.html](https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/20231219_S_3.html)

[チケットのお申し込み・お問合せ]

サントリーホールチケットセンター TEL 0570-55-0017 (10:00~18:00、休館日を除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB [suntoryhall.pia.jp](http://suntoryhall.pia.jp)

— 記 —

サントリーホール室内楽アカデミー特別公演  
大阪国際室内楽コンクール 2023 弦楽四重奏部門第2位記念  
ほのカルテット リサイタル

**Suntory Hall Chamber Music Academy Special Concert**  
**HONO Quartet the 2nd Prize in String Quartet Category**  
**of the Osaka International Chamber Music Competition 2023**

**【日時】**

2023年12月19日（火）19:00開演（18:30開場）

**【会場】**

サントリーホール ブルーローズ（小ホール）

**【出演】**

弦楽四重奏：ほのカルテット ＊サントリーホール室内楽アカデミー第7期  
HONO Quartet, String Quartet Suntory Hall Chamber Music Academy Fellow  
ヴァイオリン：岸本萌乃加 Honoka Kishimoto, Violin  
ヴァイオリン：林 周雅 Shuga Hayashi, Violin  
ヴィオラ：長田健志 Kenshi Nagata, Viola  
チェロ：蟹江慶行 Yoshiyuki Kanie, Cello

**【曲目】**

ハイドゥン：弦楽四重奏曲 変ホ長調 Hob. III:38 「冗談」  
Joseph Haydn: String Quartet in E-flat Major, Hob. III:38, "The Joke"

メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第4番 ホ短調 作品44-2  
Felix Mendelssohn: String Quartet No. 4 in E Minor, Op. 44, No. 2

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第12番 変ホ長調 作品127  
Ludwig van Beethoven: String Quartet No. 12 in E-flat Major, Op. 127

**【主催】**

サントリーホール

**【協賛】**

リベラ株式会社

**【後援】**

公益財団法人日本室内楽振興財団／公益財団法人読売日本交響楽団

**【チケット料金】**

指定席 4,500円 サイドビュー席 3,000円

**【チケット発売】**

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売：2023年9月13日（水）10時～15日（金）  
※先行期間中は窓口での販売はございません。  
一般発売：2023年9月16日（土）10時～

**【チケット取り扱い】**

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB [suntoryhall.pia.jp](http://suntoryhall.pia.jp)  
※メンバーズ・クラブは要事前登録（会費無料・WEB会員は即日入会可）  
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（10:00～18:00、休館日を除く）

サントリーホール窓口（10:00～18:00、休館日を除く）

※18:00以降開演の公演がある場合は開演時刻まで営業いたします。

※先行期間中は窓口での販売はございません。

チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp)

イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)

※都合により、内容が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。公演の最新情報はホームページにて発表いたします。（URL=[suntory.jp/HALL/](http://suntory.jp/HALL/)）

※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

## 【プロフィール】

### ■弦楽四重奏：ほのカルテット

HONO Quartet, String Quartet

2023年5月大阪国際室内楽コンクール2023第1部門（弦楽四重奏）において、日本人団体として過去最高の第2位およびアンバサダー賞を受賞した。24年12月にミュンヘンで開催される室内楽フェスティバル、メンシュ-クラング-ラウム・ビエンナーレに、同コンクールのアンバサダーとして参加を予定している。

18年1月東京藝術大学在学中に結成。五嶋みどりプロデュース ICEP メンバーと共演し、五嶋みどりにアドバイスを受ける。始動半年で第4回宗次ホール弦楽四重奏コンクールにて第3位およびハイドン賞（課題曲賞）を受賞。19年5月、第8回秋吉台音楽コンクール弦楽四重奏部門にて第1位受賞。2021年度プロジェクトQ・第19章に参加。20年より松尾学術振興財団の奨学金を受ける。これまでに松原勝也、市坪俊彦に師事。現在は山崎伸子の元で研鑽を積んでいる。サントリーホール室内楽アカデミー第7期フェロー。

### ヴァイオリン：岸本萌乃加 Honoka Kishimoto, Violin

岡山県倉敷市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学を首席で卒業し、アカンサス音楽賞および三菱地所賞受賞。同大学院修士課程修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。東京音楽コンクール第1位。日本音楽コンクール第3位。読売日本交響楽団次席第1ヴァイオリン奏者。

### ヴァイオリン：林 周雅 Shuga Hayashi, Violin

東大阪市出身。佐渡裕が率いるスーパーキッズ・オーケストラにてコンサートマスターを務める。全日本学生音楽コンクール大阪大会小学校の部第2位。横浜市民賞受賞。題名のない音楽会プロジェクト「題名プロ塾」にてプロデビューを果たす。ジャンプ SQ ミュージカル「憂国のモリアーティ」ヴァイオリン担当。

### ヴィオラ：長田健志 Kenshi Nagata, Viola

兵庫県宍粟市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。佐渡裕が率いるスーパーキッズ・オーケストラに高校1年生で入団し、ヴィオラに転向する。東京藝術大学卒業。これまでにヴィオラを大槻桃子、大野かおる、市坪俊彦に師事。現在、反田恭平率いるジャパン・ナショナル・オーケストラに所属。

### チェロ：蟹江慶行 Yoshiyuki Kanie, Cello

愛知県名古屋市出身。10歳よりアメリカにてチェロを始める。2017年に東京藝術大学音楽学部、20年に同大学院を卒業。第68回全日本学生音楽コンクールチェロ部門第2位。18年1月に東京交響楽団チェロ奏者に就任。これまでに、O. ドルガーヤ、林良一、高木俊彰、山崎伸子、中木健二に師事。

### サントリーホール室内楽アカデミーについて

プロフェッショナルを目指す若手演奏家の成長と成熟を図り、修了生のキャリアアップ支援を目標として2010年に開講。2年間（1期）にわたり毎月定例のワークショップを行う。国内外の第一線で活躍する音楽家とともに、世代を超えて室内楽の喜びや真髄を分かち合う“育成の場”であり、室内楽の楽しさと深さを聴き手と分かち合う“演奏の場”も提供している。これまでに葵トリオ（ピアノ三重奏、18年ミュンヘン国際音楽コンクール第1位）のメンバー（小川響子、伊東裕、秋元孝介）や、カルテット・インテグラ（弦楽四重奏、21年バルトーク国際コンクール第1位、22年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位および聴衆賞 [三澤響果、菊野凜太郎、山本一輝、築地杏里]）を輩出。現在は第7期生（2022年9月～24年6月）として、7グループ・26名を迎えている。

「室内楽を演奏する人たちの間にあるのは、年齢や経験の違いを超え、いっしょに音楽をつくり、楽しみ、素晴らしいものを共有することです。この室内楽アカデミーで一番大切にしたいのは、「教える—教わる」ではない、皆が対等な音楽家として向かい合う時間です。いっしょにつくっていく過程では、演奏したいことを言葉にも音にもしないといけない。そんなふうには音楽することそのものを楽しめる人になってほしい。そういう楽しみを分かち合える人たちが、輪が広がるようにつながっていく場所、それがサントリーホール室内楽アカデミーです。」

サントリーホール館長：堤 剛アカデミー・ディレクター